

**平成 27 年度
塩田ホ一ム事業活動報告書**



社会福祉法人 大地の会

＜平成 27 年度 塩田ホーム基本方針 ～平成27年度事業計画より～＞

～ 未来の地域福祉・未来の塩田ホームを見据えて～

平成26年度に策定した塩田ホーム事業計画では、「その人らしく暮らしを継続していくことを支援するための介護サービス」を目指し、地域の要支援、要介護高齢者の方々が高齢になっても安心して生活を送るための介護・福祉支援の担い手として、①介護サービスの質の向上のための、中期的な事業目標の策定、塩田ホーム内における各部門の重点的取組の明確化と効率の良い事業展開への取組、塩田ホーム内における組織構成の整理と委員会運営の活発化、労働環境の向上と離職率の低下など、やりがいのある働きやすい職場を築きあげることが具体的活動として取り組んできました。

また、②職員研修参加支援とともに、地域へ専門職種を発信できるように、③新規事業の検討も視野に入れて取組めており、平成 26 年度に掲げたこれらの具体的な行動に対して、各部署で事業を推進している状況が成果として見られていることから、平成 27 年度からは、社会福祉法人大地の会が掲げる 5 か年基本目標に合わせて、その目標達成のための事業工程を作成し、その目標達成のために取り組んでいきたいと考えております。(別紙資料『基本目標と事業計画の取組に対する行程表』参照)

以前より、この介護業界で取り上げられていた団塊の世代の 65 歳到達の節目の年が、平成 27 年度(2015 年)となります。そして、この平成 27 年度は、介護報酬改定が行われる年であり、いわゆる団塊の世代が後期高齢者(75 歳)を迎える 2025 年(平成 37 年)に向けて、国として、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」の構築を実現していくことを目指し、④中重度の要介護者や認知症高齢者への対応の更なる強化、⑤介護人材確保対策の推進、⑥サービス評価の適正化と効率的なサービス提供体制の構築といった基本的な考え方により、介護保険制度設計の舵を大きく切った年のように思われます。

施設運営という視点でこの状況をとらえたときに、介護報酬体系の大幅な減額や中重度要介護高齢者の受入機能の安定化を施設運営上も目指していかなければならない制度設計の中で、この地域の皆様に対して、温もりのある介護、安心と信頼を得られる施設を目指していくための様々な努力を、塩田ホームの大きな力に変えていくことが大切なテーマになると考えます。そして、塩田ホームが地域の高齢者介護分野に対して、ほんの一粒でもいいから、明るい未来の一部になれるように、謙虚な姿勢で在り続けていきたいと思えます。

今後は社会福祉法人として、その使命を問われる時代となります。地域への公益的な事業を含めて、これまでのフォーマルなサービスだけではなく、インフォーマルなサービスに対しても、より一層“塩田ホームらしさ”を色づけていきながら、塩田ホームの介護・福祉サービスをわかりやすくデザインし、多くの方に活用していただけるように取り組んでいきます。

塩田ホーム施設長
石若 勇

<平成 27 年度 基本方針に対する具体的行動の成果について>

I サービスの質の向上(安心して生活を送ることができる環境づくり)

中重度の要介護者や認知症高齢者への対応の更なる強化

平成27年度は、大きな法改正の年であったことから、ご利用者に対して改めて何が出来るのかを見つめ直す必要がありました。中でも、サービスの質の向上を図るために、「リハビリテーションの質の向上」が大きなテーマであり、施設内研修(外部講師による施設内勉強会の開催)などを積極的に取り入れながら、ユニット型特養においては、「個別機能訓練加算」を算定するとともに、その入居者を対象とした個別リハビリ実施計画書を作成するための担当者とチームを結成することができたことが、ご利用者への自立支援に向けたサービスへ繋がったと捉えております。

また、平成26年度の取組にあった「塩田ホーム看取り介護指針」をもとに、平成27年度は『看取り介護向上委員会』を設置し、委員会活動として PDCA サイクルを踏まえた取り組みを始めています。ご利用者やご家族の中でも、年々最後まで塩田ホームで生活することを希望される方が増えており、そうした方への支援体制を構築していくことが、私たちの責務であるとともに、その責務を果たすために、今後増々職員資質の向上を図っていく必要があります。

平成28年度も、平成27年度の取り組みを踏まえて、食事やリハビリテーション、日中や夜間の24時間のサービス向上をすすめ、ご利用者の個別ケアの充実を図るための体制を強化することを意識しながら、ご利用者から選ばれるサービスへとつながっていくと捉えながら取り組んでいきます。

II 職員研修参加支援(研修計画に基づくスキルアップ支援・委員会活動強化)

塩田ホームでは、平成24年から継続的な外部研修参加支援を行っており、平成27年度は更に内部研修の充実のために「接遇」「リハビリテーション」「排泄ケア」「福祉用具の効果的な取り扱い」といったテーマに対して、講師をお招きし、職員全員が参加できる研修会を開催してきました。とりわけ「接遇」や「リハビリテーション」については、複数回の開催をするなどして、多くの職員が参加できる体制を整えており、今後も継続的に研修計画を運用していきます。

外部研修については、平成24年度から平成26年度の3年間を重点的に行ってきたこともあり、外部の研修で学んできた知識等を、各委員会活動等でフィードバックすることに力を入れてきました。職員自身が講師になりながら、職員による主体的な委員会活動を今後も進めていきたいと考えています。

III 新規事業への取組

(在宅サービス事業の質の向上や新規障害福祉サービス事業の展開を目指す)

塩田ホームでは、中長期事業工程に沿って訪問介護事業所を中心に、これまでの高齢者介護主体のサービスから、障害者等へのサービスへの業務拡大を行っており、「障害福祉サービス居宅介護」「福祉有償運送事業」「相模原市移動支援事業(ガイドヘルプ)」といったことへの事業申請を進めるとともに、少しずつ訪問系サービスの対象者の拡大を図ってきましたが、平成27年度はこうした拡大の流れに沿って、少しずつ障害者への支援を行うことが出来ました。

平成28年度においても、これまでの新規事業展開活動を継続しながら、社会福祉法人として、地域貢献のための様々な活動展開につながっていけるよう取り組んでいきます。

IV 事業の安定化を図るため、実現可能な経費削減活動を推進について

(ランニングコストや一つ一つの経費の削減を図る)

事業継続の安定性を確保することは、地域の要介護高齢者への安心へとつながる取り組みと捉え、平成24年度以降積極的なアプローチを展開しながら、平成 27 年度も同様に活動して参りました。平成27年度の特養部門では、稼働率 94.2%(相談援助部門事業報告参照) となっており、多くのご利用者へ支援を実施しながら、同時に経費削減活動として、節水パーツの導入するなど、コスト削減に向けた活動を継続しています。

また、各種助成金の活用を図り事業活動規模が縮小していかないように、平成 28 年度も取り組んでいきます。

V 人材確保への取組(働きがいのある職場環境づくり)

平成24年度から平成26年度に引き続き、塩田ホームでは、平成 27 年度も職員の資質向上のためにスタッフ一人一人への研修機会の確保を重要な取り組みと位置付け、施設内勉強会を開催しています。また、毎回介護支援専門員の合格者には、年末の職員会議等で理事長より表彰をするといった取り組みも行っており、職員からも喜ばれております。

平成 28 年度は、新たな産業医を迎え、労働衛生委員会の活動も活発に行っていくことや、塩田ホーム内で新たに職員親睦会の発足もすすめており、様々な職員交流の機会もつくっていきたいと考えています。研修機会のみだけでなく、職員が安心して働ける場として、職場環境の形成を職員が主体的に活動できる取り組みを今後も継続していきます。

VI サービス評価の適正化と効率的なサービス提供体制の構築

平成27年度は運営会議を主軸とした、各部署間の相互関係を強化し、苦情相談等の対応も含めた協議の場を持つことで、自らのサービスの在り方を客観視できるように意識して参りました。

効果的なサービスの提供とその質の評価は、今後も更なる課題として捉え、個別性の高いニーズに対して、柔軟に対応できる体制づくりを持つとともに、塩田ホーム内で設置されている各委員会活動の質の向上を目指し、コンプライアンスの意識向上、リスクマネジメントの強化、利用者への権利擁護への取組について、強化していきたいと考えています。

また、これまでも塩田ホーム在宅サービスの拡充のために、訪問介護サービス提供責任者の増員、デイサービス定員の拡大、介護支援専門員の増員といった活動をすすめてきましたが、平成 28 年度も、新たな事業拡大に向けて取り組んでいきます。

<平成27年度 塩田ホーム 各委員会活動報告>

1、 事故予防・再発防止対策委員会

【本館】

開催実績	H27.4.24、H27.5.25、H27.6.23、H27.7.27、H27.8.24、H27.9.24、H27.10.23 H27.11.17、H27.12.21、H28.1.26、H28.2.25、H27.3.25
今年度委員会での協議・活動内容	事故報告書に記載される対策に対しての検討、職員間事故報告に対しての周知の仕方を見直し、誤薬防止の為に薬箱再確認、食形態の見直し、福祉用具の定期的な確認依頼（福祉用具担当者）ご利用者の変化に伴った対策方法の検討 誤薬防止のためのダブルチェックの周知等。
来季に向けて	事故防止に向けての環境作り。 排泄・食事・入浴担当者に定期的なチェックの協力を依頼し、事故防止につなげる。 事故報告書の書式検討 ヒヤリハットの活用方法の検討 全体会議での事故対策勉強会の開催

【新館】

開催実績	H27.4.24、H27.5.27、H27.6.27、H27.7.21、H27.8.25、H27.9.25、H27.10.27、 H27.11.17、H27.12.28、H28.1.27、H28.2.26、H28.3.31
今年度委員会での協議・活動内容	事故報告書に記載される対策に対して評価。今後のリスクについて環境の検討（福祉機器の導入・ユニットレイアウト）選択肢の拡大を目標値に活動。啓蒙活動。福祉用具委員会との連携協議（福祉用具の種類拡大や使用方法について）。
来季に向けて	・個別ケアについて初心に立ち返り、入居者個々の問題点や適正なケアについての見直しと情報の共有（個別対応の情報ツールの確立） ・身体拘束委員会や福祉用具委員会との連携。対策の選択肢の拡大と職員倫理に基づく対策判定。 ・事故報告書の手順や書式について見直し。

【短期～ショートステイ～】

開催実績	H27.5.1、H27.5.26、H27.6.29、H27.7.30、H27.9.30、H27.10.30 H27.11.17、H27.12.14、H28.1.29、H28.2.25、H28.3.25
今年度委員会での協議・活動内容	・事故報告書に記載される対策に対しての検討、評価。 ・誤薬防止の為に服薬手順の再確認。 ・福祉用具の検討。
来季に向けて	相談員、医務等、他職種との連携を深め、各利用者様の情報の共有、薬の管理方法等事故防止の環境作りを行っていきたい。 新館、本館、ショートで事故対策の書式内容変更検討、統一を図る。

2、 感染予防・感染防止対策委員会

開催実績	委員会：H27.5.18(月)・H27.7.10(金)H27.10.20(火) H28.1.20(水)H28.3.24(木) 研修：H27.6.16(火)・H27.6.18(木)H27.11.12(木)・H27.11.13(金) H28.1.21(木) 職員健診：H27.7.29(水)H28. 2.12(金) 利用者結核健診：H27.7.29(水)
今年度委員会での協議・活動内容	①指針見直し・マニュアル見直し ②感染症報告周知・ESBL産生菌取り扱い検討 ③感染症マニュアル啓蒙研修 全3研修 5日間 ④感染症予防対策として ・インフルエンザ予防接種 職員 H27.11.10 利用者 H27.11.17, H27.11.24 ・希望者肺炎球菌ワクチン予防接種 対象19名中12名希望実施 H28.2.16
来季に向けて	感染症予防対策として インフルエンザ予防接種・希望者肺炎球菌ワクチン予防接種 感染症啓蒙研修 継続 利用者・職員健診 ショートステイ感染症マニュアル作り

3、 褥瘡予防・褥瘡防止対策委員会

開催実績	委員会：H27.5.18(月)・H27.7.10(金)H27.10.20(火) H28.1.20(水)H28.3.24(木) 研修：H28.1.21(木)
今年度委員会での協議・活動内容	指針・マニュアルの見直し 褥瘡予防用福祉用具の使用チェックと指導 褥瘡発生者の対応指示と栄養チェック
来季に向けて	褥瘡予防研修 褥瘡発生のモニタリング 福祉用具有効活用

4、 身体拘束廃止・権利擁護委員会

開催実績	会議開催：実績12回 4月8日、5月13日、6月10日、7月15日、8月12日、9月4日、10月14日、11月11日、12月9日、1月3日、2月10日、3月14日 施設内部研修開催：実績1回 3月25日
今年度委員会での協議・活動内容	・委員会構成メンバーの改正(会議出席率の改善と参画しやすい体制作り) ・事例検討(日常の現場で生じている様々な対応事例などについての検討や周知) ・高齢者虐待、身体拘束、権利擁護に関する基本認識の習得 ・施設内部研修の実施(権利擁護、身体拘束、虐待防止、施設規程などについて)
来季に向けて	・定期的な施設内巡回の実施に向けた準備 ・施設内部研修の実施(対象者を分けて実施：ベーシック編～ステップアップ編) ・委員会からの情報発信(職員教育、時事ニュース、事例紹介、課題演習など) ・事例検討の活性化 ・テキストマニュアル、ケース対応マニュアル、是正処置マニュアルなどの準備。

5、 広報委員会

開催実績	月 1 回の委員会会議開催。4.16、5.21、6.18、7.16、8.20、9.28、10.16、11.20、12.18、1.15、2.19、3.28。全 12 回開催。
今年度委員会での協議・活動内容	「塩田ホームだより」の編集、発行。月 1 回の委員会会議開催。毎号の各フロアの写真振り分け。 30周年記念誌の原案作成。
来季に向けて	今季と同じく広報誌の編集・発行。30周年記念誌の原案作成。 施設(活動等)写真の保管。

6、 胃ろう喀痰吸引取扱委員会

開催実績	H27.5.18(月)・H27.7.10(金)H27.10.20(火) H28.1.20(水)H28.3.24(木)
今年度委員会での協議・活動内容	指針・マニュアルの見直し 施設内研修と 2 号研修の実施・指導 2 号研修修了者 6 名(内 3 名 実技研修途中) ヒヤリ・ハット報告 1 件、アクシデント・事故報告 1 件の検討・改善指導 看護師の現地指導研修 3 名
来季に向けて	研修の実施・指導継続 ヒヤリ・ハット報告、アクシデント・事故報告の検討と業務改善

7、 労働衛生委員会

開催実績	H27.4.23(木)H27.5.28(木)H27.6.24(水) H27.7.23(木) H27.8.14(金) H27.9.4(金) H27.10.28(金) H27.11.26(木) H27.12.16(水) H28.1.28(水) H28.2.9(木) H28.3.23(水)
今年度委員会での協議・活動内容	・フロン排出規制法(簡易チェック票の作成) ・4S活動(事業所内の整理、整頓、清掃、清潔) ・ストレスチェックについて(概要の把握と研修への参加) ・腰痛予防について ・うつ病について(早期発見と発見後の対応) ・産業医来所(健康診断とその結果に基づく指導。健康相談) ・時間外勤務の取り扱いと管理について ・有給取得について ・職員食の値下げ ・産業医の変更 (愛川北部病院、伊藤院長に変更) ・健康診断の実施(健診に伴い、任意で胃ガンリスク検査の実施) ・身上変更の一斉確認(住宅手当・扶養手当) ・職場倫理規程の周知活動
来季に向けて	・年間を通してハラスメントについて考え、職場モラル高めていく。 ・ストレスチェックを初めて実施することになるので十分な準備を進めていく。 ・産業医との連携により職員の健康が維持・向上できるような職場環境を作る。 ・職場における健康増進に資する取り組みを開始する。(THP)

8、 入退所検討・入所待機者管理委員会

開催実績	<p>合同：H27.5.14(木) H27.8.4(火)</p> <p>本館：H27.4.21(火) H27.4.30(木) H27.5.14(木) H27.6.17(木) H27.7.3(金) H27.9.28(月)H27.10.16(金) H27.10.22(木) H27.11.30(月) H27.12.7(月) H27.12.17(木) H28.1.7(木) H28.1.20(水) H28.2.17(水) H28.3.8(火) H28.3.22(火)</p> <p>新館：H27.4.20(月) H27.5.22(金) H27.6.15(月) H27.7.31(金) H27.9.30(水) H27.10.31(土)H27.11.4(水) H27.12.18(金) H28.1.29(金) H28.2.26(金) H28.3.11(金)</p>
今年度委員会での協議・活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より従来型・ユニット型合同での入退所検討委員会を開催。 ・稼働率及び待機者状況の確認 ・入退所指針改定に関して ・新規入所者の利用状況確認及び退所者カンファレンス
来季に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・稼働率維持・向上に向けた啓蒙活動 ・待機者(及びSS待機者)面談の随時実施 ・困難事例等の随時検討

9、 福祉用具管理運用委員会

開催実績	<p>H27.4.14(火),H27.5.19(火),H27.6.16(火),H27.7.21(火),H27.8.18(火), H27.9.8(火),H27.10.27(火),H27.11.17(火),H27.12.15(火),H28.1.12(火), H28.2.9(火),H28.3.8(火) ※全 12 回(毎月 1 回開催)</p>
今年度委員会での協議・活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・指針・マニュアルの見直し ・台帳管理方法の再確認と、実施。(定期的な台帳との付け合わせの実施) ・車椅子の修理方法のレクチャー及び修理を行いました (実際に、パンクの車いすを 6 台修理行いなおしています) ・福祉用具貸出ルール決定 ・事故対策委員会との合同会議開催
来季に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具を購入する為のルール作成 ・福祉用具設置及び取り外しの基準作成 ・福祉用具故障時の修理ルールの作成 ・事故対策委員会との連携 ・新しい福祉用具等の提案

10、 塩田ホーム行事委員会

開催実績	<p>全体会：H27.5.1(金) H27.7.3(金) H27.8.7(金) H27.9.7(月) H27.7.3(金) H27.8.7(金) H27.9.7(金) H27.10.2(金) H27.11.6(金) H27.12.4(金) H28.2.5(金) H28.3.4(金) 各部会：H27.6.5(金) H27.6.21(日)</p>
今年度委員会での協議・活動内容	<p>納涼祭：H27.8.30(土)10時～11時※ゲームコーナー(ヨーヨー・射的・輪投げ等) 15時～17時 ※メインイベント(お囃子・盆踊り等) 利用者家族参加数：約70名 地域一般来場者：約100名 来賓：約30名 婦人会・白寿会：約25名 お囃子(塩田・上磯部)：各20名 消防団：4名 地域ボランティア：7名 その他ボランティア：3名 文化祭：H27.10.14(土)10時～11時半 ※職員による仮装大会鑑賞 14時～15時 ※光明学園相模原高等学校(和太鼓部演奏) 学生：約30名 教員：2名 保護者：複数名 新年会：インフルエンザ対策のため中止 (⇒代替としてH28.3.17(木)14時～15時に春の演武会開催) 家族交流会：H28.3.26(土)10時～11時 ※豚汁・プリンアラモード作り 11時～11時半 ※家族懇談会 12時～ ※会食</p>
来季に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・季節行事内容及び開催日時等の再検討。 ・社会資源の活用と地域との連携強化。 ・委員を中心に塩田ホーム職員全体で、自主性を持った行事参加及び運営を実施。

11、 個人情報保護推進委員会

開催実績	H28.1.18(月) H28.2.19(金) H28.3.18(金)
今年度委員会での協議・活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業 個人情報使用同意書の見直し ・個人情報保護の管理規程の確認 ・契約締結時、同意書を取り交わす際のご案内方法の改善 ・防犯カメラの設置 ・防犯カメラの増設 ・新介護ソフトの職員権限を設定
来季に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・4月より改めて個人情報使用の同意を得る際に基本方針の説明を添えて取り交わす。 ・新介護ソフトの職員権限設定を毎月の委員会で見直す。 ・雇用を管理するソフトを導入しマイナンバーの取り扱いに留意した対策の推進を図る。

12、 防災対策委員会

<p>開催実績</p>	<p>H27.5.26(火) H27.6.23(火)外部研修参加 H27.7.2(木)DS避難訓練 H27.8.5(水)H27.9.29(火) H27.10.21(水)H27.11.10(火) H27.12.22(火)H28.1.12(火) H28.3.11(金)</p>
<p>今年度委員会での協議・活動内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害時参集条件の作成と周知 ・消防設備点検 ・防災倉庫4S活動 災害物品のリスト作成 ・夜間、防火管理担当者を配置(宿直職員の配置を無くす) ・社会福祉施設等防火実務研修会への参加(2名)と研修報告 ・デイサービス避難訓練の実施 ・全カーテンを防災カーテンへの変更 ・検証訓練(消防署査察、指導課立ち合いのもと避難、消火、誘導の訓練) ・防災設備説明会(委託消防設備会社よりご説明を頂く) ・防災設備説明会(防災委員より各職員へ説明を行う) ・AED 使用可能施設登録(相模原市へ届出) ・夜間、新館の厨房より出火を想定した避難誘導訓練の実施 ・地域の防災活動、黄色い小旗(安否確認)訓練への参加 ・起震車/煙体験の申請(雨天のため中止) ・夜間、本館の洗濯室より出火を想定した避難誘導訓練の実施
<p>来季に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難/誘導訓練を繰り返し行い、防災意識を全体で高めていく。 ・ 福祉避難所として地域の方を受け入れることを前提とし、想定される受け入れ人数に合わせて備品を整理し準備する。 ・ BCP の作成を進め、災害時でも事業が継続できる体制を作る。

13、 看取り介護向上委員会

<p>開催実績</p>	<p>H27.4.9(木)・H27.5.19(火)・H27.8.20(木) H27.10.21(水)・H28.1.20(木)・H28.3.30(木)</p>
<p>今年度委員会での協議・活動内容</p>	<p>①指針見直し(H27.4月 H28.3月) ②書式作成 書式試験使用による評価 ③看取り介護加算算定の届け出(5月1日～) ④看取り対応者振り返り</p> <p>5月 本館 1名(H27.4.26～5.1) 新館 1名(H27.5.12～6.8) 看取り導入期の記録、家族が記録を確認できる配慮</p> <p>8月 本館 0名 新館 1名(H27.6～7.21) 継続対応 ケアの見直しとカンファレンスを1週毎に開催</p> <p>10月 本館 3名 (H27.9.12～9.13)(H27.10.13～10.15) 1名は看取り希望されましたが、呼吸苦の出現で入院となりました。 新館 2名 (H27.9.25～10.18)(H27.9.29～) 看取り希望でありながら対応できないケース検討 夜間面会の対応 環境整備 家族の迷いなどが検討されました。</p> <p>1月 本館 3名 (H27.10.8～10.22)(H27.10.27～10.30)(H27.11.4～H28.2.10) 新館 2名 (H27.11.17～11.25)(H27.9.29～11.6) 看取り対応者の増加によるカンファレンスの集中 家族付き添いによる部屋の移動 急変に備えたりスク重視の同意と実際のケアのずれについての検討 日常・健康時からの死生観や医療への考え方の確認の必要性検討</p> <p>3月 本館 5名 (H27.1.8～3.20)(H28.1.5～現在)(H28.2.26～現在) (H28.3.1～3.17)(H28.3.21～3.23)</p> <p>④嚥下機能の低下と食事摂取・吸引について、ケアとリスクの検討 → 次年度勉強課題</p> <p>⑤看取り運営状況点検書に基づく現状評価</p>
<p>来季に向けて</p>	<p>看取り介護の研修実施。 個別での看取り導入時・振り返りカンファレンス実施。 看取りケア加算算定の手順をさらにすすめていく。</p>

<平成27年度 塩田ホーム会議運営について>

<職員会議>

■ 運営会議

<p>開催実績</p>	<p>運営会議:H27.5.15 H27.6.19 H27.7.9 H27.8.10 H27.9.25 H27.10.28 H27.12.18 H28.1.18 H28.2.19 H28.3. 主任会議:H27.6.8 H28.1.12 H28.1.14 委員長会議:H27.10.28</p>
<p>協議・活動内容</p>	<p><運営会議(主任会議)の主な議題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険法改正の各取扱いの確認について ・新たな加算算定への取組について ・労働環境の改善について(時間外勤務の把握、有給休暇消化状況の把握) ・外部内部研修の計画と実施について ・職員健康診断について ・ホーム車両の取り扱いについて ・事故対策について ・実習生受け入れスケジュールについて ・ボランティア受け入れ体制の確認について ・宿直者の取り扱いと施設防火対策について ・宿直室のレイアウト変更について ・受動喫煙防止対策の確認 ・老人福祉法指導監査について ・マイナンバー制度と特定個人情報の取扱いについて ・職員ストレスチェックと産業医の変更について ・労働法改正の内容について ・人事考課について ・介護ソフト FUTURE の更新と新ソフト検討について ・事業報告、事業計画、収支予算について ・イベントについて(納涼祭、文化祭、新年会、家族交流会) <p><委員長会議></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各委員会の活動報告と来季に向けた取り組みについて
<p>次年度に向けて</p>	<p>運営会議(主任会議)は、各部署責任者(主任)による施設運営方針の確認と各部署のサービスの質の向上につながる業務改善課題を検討、実行するための会議として運営している。平成 28 年度もこの目的を強く意識して、施設運営の改善のために様々な視点から取り組んでいきたい。</p>

<特養会議について>

特養(新館フロア会議)

開催実績	<<さくらユニット>>5/11・9/3・12/15・2/4 <<つつじユニット>>7/19・9/18・10/25・11/29・12/14 <<うめユニット>>10/12 12/4 <<ふじユニット>>7/18 8/15 9/22 11/4 12/4 <<あかしあユニット>>12/3 1/20 <<新館 2 階フロア会議>>2/26 <<入浴担当者会議>>4/28 <<新館役職者会議>>5/22 6/24 9/14 11/21 2/14
協議・活動内容	入居者対応・業務の見直し。 シフトに対する考え方の統一(ルール作り) 課題に対する共通認識の構築。 新館 2 階の欠員のフォローについて 緊急時の対応についてユニット単位での勉強会 来季の目標について
次年度に向けて	来季に向けての目標設定と共通認識の構築。 個別ケアの推進。(スローガンから具体的な活動へ。各ユニットで適性なケアについての根拠作り)

特養(本館フロア会議)

開催実績	各グループ:4月1日、8日、10日、12日、10月8日、10月16日、10月28日 全体:7月24日、9月28日、12月7日、2月8日 役職者:5月25日、8月11日、11月10日、1月14日、2月8日
協議・活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループの今期の目標に向けて、各階ご利用者に関してのケアの検討 ・認知症・介護サービスの運用についての勉強会 ・一般浴日の変更 ・ショート利用マニュアルの見直し、各グループの問題点の改善に向けた検討 ・今年度グループ目標の振り返り ・働きやすい職場作りについて各委員会より申し送り、
次年度に向けて	接遇向上計画を立て1年間を通し、職員が考え行動をする力を付ける。 各グループの年間目標の取り組みと仕上げ。 事故対策について会議での話し合いを持ち関心を高めていく。 建浴室の改修工事を行い、快適な入浴環境を提供していく。

短期(ショートステイフロア会議)

開催実績	<ul style="list-style-type: none"> ・全体会議： 6月16日、11月25日、3月10日 ・リーダー会議： 5月11日、6月14日 ・モクレン： 12月14日、1月12日、3月10日 ・モモ： 12月18日、1月14日、2月26日、3月10日
協議・活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の対応の研修。 ・忘れ物、事故の振り返り(3ヶ月) ・各ユニット会議(今期の目標、課題等) ・来季の目標
次年度に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度各ユニットでかかげた目標に向け、達成するための取り組みをしていく。 ・誤薬、忘れ物が多い為、ダブルチェック等システム再徹底を行う。

■ 給食会議

開催実績	<p>H27.4.6(月)H27.5.7(木) H27.6.8(月)H27.7.6(月)H27.8.3(月) H27.9.7(月)H27.10.5(月)H27.11.2(月)H27.12.7(月)H28.1.22(金) H28.2.16(火)H28.3.7(月)</p>
協議・活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各部署からの意見交換。 ・課題が出た時にはセプトも一緒に話し合いを行った。
次年度に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会だけではなく、テーマを設定し、再確認を兼ねた勉強会を行う。 ・食事意見票を実行しているが、なかなか提出できずにいる部署もあるため、再度確認を兼ねて食事故の防止に努める ・毎回出席率が良いため、今年度も各部署から多くの意見が聞けるように日程調整を行う

■ 口腔ケア担当者会議

開催実績	<p>H27.4.20(月)H27.5.18(月) H27.6.15(月) H27.7.27(月) H27.8.24(月) H27.9.28(月) H27.10.19(月) H27.11.16(月) H27.12.21(月) H28.1.25(月) H28.2.15(月) H28.3.28(月)</p>
今年度活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な口腔ケア物品の衛生管理の実施。 ・課題のあるご利用者の個別ケアの助言・指導を受け全職員の周知と実践。 ・口腔会議に介護職員が参加する事で周知の徹底を図る。
次年度に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・助言・指導を全職員に周知の徹底。 ・疑問点や課題がある場合は積極的に会議で検討していく。 ・口腔ケアのスキルアップ。

3、各ケアマネジメント実践の担当者会議

■ 本入所担当者会議(ケース会議)

開催実績	<p><本館(従来型特養 サービス担当者会議)> H27.4.8(水)H27.4.9(木)H27.5.8(金)H27.5.11(月)H27.5.12(火)H27.6.8(月) H27.7.9(木)H27.7.10(水)H27.8.17(月)H27.8.18(火)H27.9.8(火) H27.10.2(木)H27.11.4(水)H27.11.5(木)H27.12.2(月)H27.12.4(水) H28.1.7(木)H28.1.8(金)H28.2.4(木)H28.3.1(火)H28.3.9(水) 【本館担当者会議ご家族出席率】 <u>46%</u> <本館看取り介護担当者会議> H27.6.16(火)～毎週火曜日実施 <新館> H27.4.16(木)H27.4.17(金)H27.5.19(火)H27.5.20(水)H27.6.12(金) H27.6.17(水)H27.6.23(火)H27.7.1(水)H27.7.7(火)H27.7.14(火) H27.7.15(水)H27.8.19(水)H27.8.20(木)H27.8.21(金)H27.8.24(月) H27.9.24(木)H27.9.29(火)H27.10.20(火)H27.10.21(水)H27.10.22(木) H27.11.24(火)H27.11.25(水)H27.12.21(月)H28.1.25(月)H28.2.20(土) H28.2.22(月)H28.2.23(火)H28.2.24(水)H28.3.24(木)H28.3.25(金) 【新館担当者会議ご家族出席率】 <u>68%</u> <新館看取り介護担当者会議> H27.9.29(火) H27.10.6(火) H27.10.13(火) H27.10.20(火) H27.10.27(火) H27.11.4(火)</p>
今年度 活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新規加算(看取り介護加算)算定に向けた諸準備 ・ご利用者の状況に応じ、適宜担当者会議の実施 ・ご利用者・ご家族の意向をプランに反映
平成 28 年度 に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症理解のための職員研修の企画 ・個別ケアの実践・ADL 維持継続

■ 苦情相談受付担当者会議

開催実績	H27.6.2(火) H27.9.10(木) H27.12.2(水) H28.3.30(水)
協議・活動内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討 ・第 3 者委員への報告
平成 28 年度 に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・利用窓口を担うことができる職員を育成し、主たる担当者が不在時でも充分なご案内が出来るような体制を整える。 ・接遇力の向上 ・満足度調査アンケートを事業ごとに実施。回収の結果を踏まえ、分析・研究を行い、対応していく。 ・軽微な事例でも苦情相談記録をとり、苦情相談解決のノウハウを積み上げていく。

■ 栄養ケア会議

開催実績	<p><本館></p> <p>H27.4.8(水)H27.4.9(木)H27.5.8(金)H27.5.11(月) H27.5.12(火)</p> <p>H27.6.8(月)H27.7.9(木) H27.7.10(水) H27.8.17(月) H27.8.18(火)</p> <p>H27.9.8(火) H27.10.2(木)H27.11.4(水)H27.11.5(木)H27.12.2(月)</p> <p>H27.12.4(水)H28.1.7(木)H28.1.8(金)H28.2.4(木)H28.3.1(火)H28.3.9</p> <p><新館></p> <p>H27.4.16(木)H27.4.17(金)H27.5.19(火)H27.5.20(水)H27.6.12(金)</p> <p>H27.6.17(水)H27.6.23(火)H27.7.1(水)H27.7.7(火)H27.7.14(火)</p> <p>H27.7.15(水)H27.8.19(水)H27.8.20(木)H27.8.21(金)H27.8.24(月)</p> <p>H27.9.24(木)H27.9.29(火)H27.10.20(火)H27.10.21(水)H27.10.22(木)</p> <p>H27.11.24(火)H27.11.25(水)H27.12.21(月)H28.1.25(月)H28.2.20(土)</p> <p>H28.2.22(月)H28.2.23(火)H28.2.24(水)H28.3.24(木)H28.3.25(金)</p>
協議・活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・現段階の栄養状態の説明 ・利用者の意向に応じた食環境づくりの実施 ・各部署との意見交換、記録 ・利用者個人に合った食環境のスクリーニング
平成 28 年度 に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・数値を分かりやすく記載できるよう工夫し、説明を行う。 ・利用者の栄養状態を各部署の介護職員にも把握していただく。 ・家族、他職員からの依頼にはしっかりと対応できるようにする。 ・利用者の健康の維持、増進に努める。

■ リハビリ担当者会議

開催実績	H27.7.2(火) H27.8.12(水) H27.10.6(火) H27.12.1(火) H28.1.19(火)
協議・活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新規加算(個別機能訓練加算/12 単位)算定に向けた諸準備及び体制作り ・外部研修報告(七沢リハビリテーション病院・(株)ウィズケアパートナーズ) ・外部講師による職員研修の企画及び運営 【施設内研修日:H27.11.5(木) 19 時～21 時半 H28.2.26(金) 19 時～21 時半】 ・リハビリ計画書に伴う利用者検討
平成 28 年度 に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ実施状況の確認 ・書式及び記載方法等の再検討(例:介護ソフト【ほのぼの】使用) ・次年度以降に向けた準備(本館利用者の新規加算算定に向けて諸準備)

<平成 27 年度 日常生活活動成果について>

① クラブ活動開催実績

書道クラブ…毎月1回開催。

生花クラブ…毎月1回開催。ご利用者の意向に沿って活動を行った。

② ボランティア訪問等実績

クローバー(歌の教室)…毎月第1・3木曜日に開催。

相模原陽光マジック(敬老会)…H27.9.16(水) 14時～15時 ※ボランティアセンター活用

③ 美化・園芸活動実績／家族交流実績

夏/冬の美化清掃活動実績…H27.6.13(土) 10時～12時

施設外除草作業清掃(ご家族 29名・ボランティア 2名・職員 11名が参加)

H27.12.5(土) 10時～12時

施設内居室窓拭き(ご家族 27名・職員 10名が参加)

園芸活動実績…H27.6.13(土) 14時～15時

施設外除草作業清掃と同時開催にて植樹活動実施。

施設ケアマネジャーを中心にご利用者・ご家族と共に実施し、季節の花に触れる機会となった。

家族交流実績…H28.3.26(土) 10時～13時開催。

10時～ 豚汁作り・プリンアラモード作り

11時～ 家族懇談会

12時～ 会食

ご利用者とご家族と一緒に活動できる内容として、家族交流会の企画・運営を行った。ご利用者・ご家族と共に野菜切りや形抜きをしてウッドデッキにて炊き出しをしたり、プリンに生クリームや果物の飾り付けをしたりして、当日の昼食で提供し、全員で会食することができた。

また、初の試みとして家族懇談会を開催。介護職員よりご家族へ平成 27 年度の活動報告及び平成 28 年度の活動予定を発表し、生活相談員より平成 28 年度新規加算算定(本館:個別機能訓練加算 12 単位/日)及び介護ソフト変更に伴い請求書領収書の書式変更に関する説明を行った。

④ 地域交流活動

地域懇談会…H27.5.9(土) 11時～12時で開催。

塩田自治会・地域ボランティアより総勢 23 名をお招きして今年度の行事・イベント日程確認を行う。

白寿会とのカラオケ交流実績…H27.6.24.(水) 10時～11時半で開催。

9名のご利用者・10組の白寿会メンバーによって歌と踊りが披露され、多くのご利用者も楽しい時間を過ごすことができた。

番田囃子連 訪問実績…H27.9.5(土) 10時半～11時で開催。

小人 25名・大人 10名が来所しお囃子・獅子舞等の演武を鑑賞する。

餅つき・正月飾り作り活動実績…H27.12.17(木) 10時～12時で開催。

例年同様のスケジュールで実施する。もち米の蒸し方によって完成する餅の状態の良し悪しが左右された。もち米の蒸し方については統一した方がスムーズに運ぶと思われるので、次年度の地域懇談会にて再検討を要する。

介護相談員の訪問活動実績…2名の介護相談員が月1回ずつ訪問し、ご利用者の話を伺っている。

今年度は1名の介護相談員が変更となったため、オリエンテーションを実施した。また、塩田ホームで開催している行事やイベントに合わせて訪問していただけるよう、随時打ち合わせをすることでより良い活動に繋げることができた。

⑤ 世代間交流活動実績

<園児との交流>

横山台保育園:H28.3.8(火) 14時～15時 園児 23名/職員 3名来所

ふじ第2保育園:来所中止(保育園側:インフルエンザのため)

新磯保育園:H28.3.8(金) 14時～15時 園児 25名/職員 3名来所

毎年各保育園・幼稚園の協力のもと、園児との交流を行なっている。例年同様、園児による遊戯発表、あやとり・じゃんけん大会・風船バレー等、ご利用者と園児が直接かかわることができる活動になるよう努め、ご利用者へ楽しいひとときを提供できたと感じている。今年度はインフルエンザによる開催日調整(中止/延期等)が多く発生した。

<小・中学生との交流>

夢の丘小学校(地域体験):H27.10.27(火) 9時～14時 6年生 4名

田名中学校(職場体験):H27.11.5(木)・6日(金)※2日間 9時～16時 2年生 4名

毎年受け入れをしている地域体験・職場体験をご利用者もとても楽しみにされている。両学生に対して初日オリエンテーションとして車椅子乗車及び操作を行い、ご利用者の気持ちを体験してもらった。小学生の地域体験では、折り紙やパズル・ピアノ演奏・話し相手等、ご利用者と楽しむために様々な準備をして当日を過ごしていた。中学生の職場体験では、ご利用者とのコミュニケーションや生活介助場面での軽介助(入浴後のドライヤー・配膳・車椅子介助等)を体験した。

平成 27 年度
塩田ホーム 部署別活動実績

社会福祉法人 大地の会

【相談援助部門】

【平成 27 年度 部門目標】

- ・平成 27 年度における介護報酬改正やその他関連法令等に関して、アンテナを常に高く保ち、迅速かつ適切に対応していく。その内容をご利用者様及びご家族様へ懇切丁寧に説明し安心してご利用いただけるように相談援助部門としての役割を果たします。
- ・新たな加算導入に向け取り組み。ワンランク上のサービスが提供できる事業所を目指します。
- ・画一的な相談援助ではなく、その方の状況に応じたオーダーメイドの相談援助を展開していきます。

平成 27 年度 項目別行動計画

相談援助部門全体の環境向上について	①入退所時の対応は生活相談員・入所中の生活支援は施設ケアマネと、職種の専門性を十分に活かしながら業務に努める。 ②生活相談員・施設ケアマネと職種の違いを理解し、本館・新館・SSIに関わらず、他職員の取り組んでいる業務をフォローできる体制を構築する。
相談援助技術/環境の向上について(特養生活相談員)	①入所申込・待機者対応:常に入所待機者への追跡調査や事前面談を行い、空床が出来た際に迅速な対応をする。 ②役割分担と協力体制を構築して進め、効率よく機能的に業務を行い、残業を削減します。
相談援助技術/環境の向上について(SS生活相談員)	①SSケアプラン:適宜かつ、適時性のあるプランを計画し、サービスを提供できるよう相談員・介護主任と連携し随時作成していく。 ②ライフサポート事業:27年度から始まる社会貢献事業の特性・特徴を理解し、必要とするサービスや制度を理解、提供できるように知識や多職種との連携を深め地域との関りを深めていく。 ③広報委員会(30周年関連)の運営:事業別パンフレット、社会福祉法人大地の会としての冊子の作成。
相談援助技術/環境の向上について(施設ケアマネ)	①ケアマネージャーとして専門的知識・技術の向上に努めていく。 ②ご利用者が住み慣れた施設で、自分らしい暮らしを最期まで続ける事ができるよう、ご家族・他職種との連携を図り、個別援助を展開していく。 ③看取り加算に向けた基礎作り

相談援助部門 会議開催実績	朝礼(8:55~9:00)終礼(17:55~18:00)の毎日実施 H27.10.6(火):16時半~17時半 H27.12.22(火):10時半~11時半 H28.1.26(火):10時半~11時半
今年度の 協議・活動内容	・運営状況点検書における業務確認。 ・稼働率に関する協議(待機者含め) ・介護ソフト変更に伴い、各職種の進捗状況確認 ・H27年度事業計画に対する振り返り
次年度に向けて	・他職員の業務状況を理解し、業務の偏りなく各職員間でフォロー体制を整える。 ・稼働維持のため、待機者状況や事前面談など早期対応を行なう。 ・SS送迎可能な職員を増やす。 ・部門として2年目を迎えるので、業務精度を上げていく。

平成 27 年度 相談援助部門の振り返り、活動の成果

【生活相談員～ソーシャルワーク～】

①介護保険法改訂に対する諸対応

料金変更に伴う各種書類の作成及び同意において、前もって準備することができ、滞りなく身元保証人へ郵送・説明することができました。

②他部署連携について

各部署(専門職)間で様々な考え方がある中で、意見の相違が発生することもあったが、ご利用者にとって最善な支援ができるよう、協議することが多い1年でした。

③地域との交流

地域交流として白寿会とのカラオケ・納涼祭・餅つき/正月飾り作り等を企画・運営しているが、【誰のためのイベントであるか】という点を大切にしながら、地域住民の協力・意見等総合的に判断しながら、行うことができました。一方で、地域住民の高齢化に伴い、イベント開催時の手順や打ち合わせをこれまで以上に密に行わなければならないと痛感した1年だったと思います。

④稼働率・稼働率獲得について

本館は長期加療に伴う退所者・長期入院者が多かったため、稼働変動が大きい月が発生してしまいました。空床期間にSS利用者へ居室提供することも多く、その間に待機者調整を実施しましたが、入所までスムーズに進まないケースも発生してしまい、次年度の大きな課題となります。

【かながわライフサポート事業実績】

平成 28 年 3 月 10 日支援開始、現在継続中。

支援内容…市社協よりライフサポートへ連絡があり支援となる。就労開始して間もなく、電気がとまりガスも数日で止まってしまう。給料が入るまで日数がまだある為助けて欲しいという相談。

経済支援…電気代(1か月分):11,431円、ガス代(一部):16,212円、食事代:652円。

【施設ケアマネジメント】

①看取り介護について

28年度から看取り介護加算を実施するため、27年度から看取り介護支援経過記録表を使用した看取り介護を実施し、1週間という短期間でのプランの見直しを実施した。他職種の記録が一目でわかるようにしたが、介護・看護の記録のみの日がほとんどであった。各専門職が記録し、一目瞭然に確認することで情報の共有を図り、気づきにつながるができるように、他職種に発信する力が足りなかった。

②個別ケアについて

ご利用者の立場に立ってプランを作成し、その人らしく生活を送ることができるようにするためにどのような支援すればよいのか、介護・看護・主治医・栄養と検討することができたが、直接に支援している介護職員からの情報の収集をもっと合理的にできるように、共有伝言板の活用が必要であったと思います。ご利用者やご家族との信頼関係を構築し、気兼ねなくお話して頂けるように意識し、訴えることのできない

ご利用者に対し、ご意向をくみ取ることができるように観察力をつけていきたいと思いを。

③口腔ケアについて

歯科医、歯科衛生士からの助言をいただき、支援困難なご利用者に対し助言や指導を受けることができた。毎月実施している口腔会議では、本館・新館合同で行うため、職員全体の口腔ケアについての周知の幅が広がった。28年度は、もっと積極的に助言・指導を受け、口腔ケアの大切さを改めて全職員に周知していきたい。

④他職種との連携について

介護・栄養・医務・CM・相談員それぞれの専門的立場でもっと意見交換ができた方がよいと思うことが多かったと思います。他職種の専門性をそれぞれが理解するためにも、積極的な意見交換が大切であると痛感した1年でした。28年度はまずは自身から発信できればと思います。(施設ケアマネ)

平成27年度 月別入所稼働率・平均年齢・平均在籍日数

	入所率(%)			平均年齢(歳)			平均在籍日数(日)		
	本館	新館	全体	本館	新館	全体	本館	新館	全体
4月	94.6	98.4	96.5	84.67	85.77	85.22	1295	1276	1285.5
5月	93	98	95.5	84.27	85.85	85.06	1223	1276	1249.5
6月	93.5	98	95.75	84.06	85.94	85	1189	1241	1215
7月	96.8	100	98.4	84.1	85.8	84.95	1189	1217	1203
8月	96.7	97	96.85	84.43	85.86	85.145	1185	1217	1201
9月	90	97.3	93.65	85.02	86.55	85.785	1208	1217	1212.5
10月	89.3	97.9	93.6	85.02	86.55	85.785	1349	1417	1383
11月	90.8	96.9	93.85	84.67	86.16	85.415	1327	1396	1361.5
12月	89.8	95.9	92.85	84.73	86.16	85.445	1257	1396	1326.5
1月	90.2	94.5	92.35	84.73	86.12	85.425	1257	1389	1323
2月	88.6	90.4	89.5	85.16	86.12	85.64	1166	1389	1277.5
3月	90.5	92.8	91.65	85.2	85.67	85.435	1104	1304	1204
年間平均	91.98%	96.43%	94.2%	84.3	85.8	85.1	1229.1	1311.3	1270.2

※前年度実績との比較(ユニット型特養・従来型特養)

	平成 26 年度	平成 27 年度	前年度比
前年度比 (入所率)	94%	94.2%	100.2%
前年度比 (平均年齢)	86.22 歳	85.1 歳	98.7%
前年度比 (平均在籍日数)	1424.5 日	1270.2 日	89.1%
前年度比 (平均介護度 3 月 31 日比較)	新館 3.72	新館 3.79	101.8%
	本館 3.68	本館 3.78	102.7%

平成27年度塩田ホーム(従来型) 要介護度別利用者推移

	要介護度1			要介護度2			要介護度3			要介護度4			要介護度5			在籍 実日数	延べ 人数 合計
	延べ人数		実人数	延べ人数		実人数	延べ人数		実人数	延べ人数		実人数	延べ人数		実人数		
	男性	女性		男性	女性		男性	女性		男性	女性		男性	女性			
4月	30	30	2	90	90	6	0	270	9	108	420	18	60	367	14	49	1465
5月				93	62	5	31	392	14	134	373	17	62	378	15	51	1525
6月				60	60	4	60	396	16	150	360	17	60	368	14	51	1514
7月				62	62	4	62	434	16	155	341	16	62	403	15	51	1581
8月				62	0	2	62	428	16	155	372	17	62	372	16	51	1513
9月				60	0	2	60	420	16	150	343	16	60	420	16	50	1513
10月				62		2	62	465	17	180	341	17	62	379	12	48	1551
11月				60		2	60	502	19	179	330	16	60	300	12	49	1491
12月				62		2	62	527	19	173	368	18	62	310	12	51	1564
1月				62		2	62	527	19	186	372	18	62	310	12	51	1581
2月				58		2	49	474	17	181	328	18	58	304	12	49	1452
3月				62		2	31	520	18	203	322	15	62	310	12	47	1510
合計	30	30	2	793	274	35	601	5355	196	1954	4270	203	732	4221	162	49.83	18260

平成27年度塩田ホーム(ユニット型) 要介護度別利用者推移

	要介護度1			要介護度2			要介護度3			要介護度4			要介護度5			在籍 実日数	延べ 人数 合計
	延べ人数		実人数	延べ人数		実人数	延べ人数		実人数	延べ人数		実人数	延べ人数		実人数		
	男性	女性		男性	女性		男性	女性		男性	女性		男性	女性			
4月				30	150	6	60	480	18	60	330	13	60	289	11	48	1459
5月				31	93	4	62	558	20	62	341	13	62	279	11	48	1488
6月				60	90	4	60	540	20	60	360	14	60	240	10	48	1470
7月				31	93	4	93	558	21	62	403	15	62	217	9	49	1519
8月				31	93	4	93	558	21	62	403	15	62	217	9	49	1519
9月				30	60	3	60	540	21	60	390	15	60	240	10	49	1440
10月				31	62	3	62	558	20	93	930	15	62	248	10	48	2046
11月					30	1	60	502	19	12	420	18	60	235	9	47	1319
12月					31	1	62	496	18	124	434	18	62	248	10	47	1457
1月					31	1	62	465	17	124	476	19	62	248	10	47	1468
2月					29	1	58	435	17	116	435	19	58	232	10	47	1363
3月					31	1	80	465	18	124	496	20	70	217	10	49	1483
合計	0	0	0	244	793	33	812	6155	230	959	5418	194	740	2910	119	48	18031

平成27年度 入所者一覽

No.	性別	年齢	介護度	入所年月日	入所先
1	女性	84	5	2015/4/4	本館
2	男性	72	4	2015/4/13	本館
3	女性	89	3	2015/5/12	本館
4	男性	70	4	2015/5/22	本館
5	女性	84	3	2015/5/26	本館
6	女性	83	3	2015/6/25	本館
7	男性	77	3	2015/7/1	新館
8	女性	89	3	2015/9/20	本館
9	男性	72	4	2015/10/7	本館
10	女性	87	3	2015/11/3	本館
11	女性	82	3	2015/11/7	本館
12	女性	81	4	2015/12/5	本館
13	男性	82	4	2015/12/14	本館
14	女性	90	4	2016/1/12	新館
15	女性	100	5	2016/2/15	本館
16	男性	89	4	2016/2/23	本館
17	女性	90	3	2016/3/8	本館
18	男性	86	3	2016/3/14	新館
19	男性	75	5	2016/3/24	新館

平成27年度 特養入所者 総数

入所者総数	19名
平均年齢	83.26歳
介護度内訳	要介護3:9名 要介護4:7名 要介護5:3名
居室形態 内訳	本館(従来型):15名 新館(ユニット型):4名

本館入所者(平成28年3月末)

入所者数	50名(要介護2:2名 要介護3:18名 要介護4:18名 要介護5:12名)
平均年齢	84.62歳
平均介護度	3.44

新館入所者(平成28年3月末)

入所者数	49名(要介護2:2名 要介護3:18名 要介護4:21名 要介護5:9名)
平均年齢	85.82歳
平均介護度	3.78

平成27年度 退所者一覧

	性別	年齢	介護度	退所理由	入所年月日	退所年月日	在籍日数
1	女性	94	5	ホームにて逝去	H21. 3. 12	H27. 4. 10	2220
2	女性	96	4	ホームにて逝去	H23. 10. 17	H27. 5. 1	1292
3	女性	98	5	ホームにて逝去	H22. 8. 17	H27. 6. 8	1756
4	女性	79	3	長期入院	H27. 2. 6	H27. 8. 20	195
5	女性	94	4	ホームにて逝去	H22. 9. 6	H27. 9. 13	1833
6	女性	82	5	長期入院	H27. 3. 27	H27. 10. 2	189
7	女性	94	5	ホームにて逝去	H22. 9. 11	H27. 10. 16	1861
8	女性	84	5	ホームにて逝去	H27. 4. 4	H27. 10. 22	201
9	女性	88	5	ホームにて逝去	H21. 4. 27	H27. 10. 30	2377
10	男性	72	4	ホームにて逝去	H27. 10. 7	H27. 11. 29	53
11	女性	78	4	長期入院	H16. 12. 1	H28. 2. 8	4086
12	男性	89	3	長期入院	H26. 8. 18	H28. 2. 20	551
13	女性	88	3	ホームにて逝去	H19. 7. 10	H28. 3. 17	3173
14	男性	89	4	ホームにて逝去	H28. 2. 23	H28. 3. 17	23
15	女性	97	4	ホームにて逝去	H20. 6. 23	H28. 3. 20	2827
16	女性	66	5	ホームにて逝去	H19. 8. 6	H27. 4. 19	2813
17	女性	97	4	ホームにて逝去	H24. 12. 17	H27. 10. 18	1035
18	女性	92	3	ホームにて逝去	H27. 3. 19	H27. 11. 7	233
19	女性	88	5	ホームにて逝去	H19. 5. 18	H27. 11. 25	3113
20	女性	78	4	病院にて逝去	H22. 10. 1	H28. 1. 22	1939
21	女性	105	3	ホームにて逝去	H22. 4. 7	H28. 3. 9	2163

退所者平均年齢	88.00 歳
退所者平均在籍日数	1616 日

退所先 比率	施設にて死去	75.0%
	病院にて死去	5.0%
	長期入院	20.0%
	在宅復帰	0.0%

平成27年度（介護予防）短期入所生活介護 利用実績

新館（ユニット型）ショートステイ（18床 併設・空床）

新館	日数	利用枠	純利用数	純利用率	空床利用	総利用率	1日平均	キャンセル	介護度平均	年齢平均	新規利用者	介護予防
4月	30	540	434	80%	0	80.0%	14.5	183	2.7	84	1	
5月	31	558	456	82%	8	83.0%	14.7	99	2.9	84	5	支援2:1人
6月	30	540	441	82%	5	83.0%	14.9	140	2.8	84	2	
7月	31	558	457	85%	0	85.0%	15.2	114	2.7	85	4	支援2:1人
8月	31	558	472	85%	8	86.0%	16.0	131	2.8	84	5	
9月	30	540	464	86%	14	89.0%	15.9	110	2.7	84	7	
10月	31	558	414	74%	0	74.0%	13.4	240	2.8	84	1	
11月	30	540	330	61%	0	61.0%	11.0	283	2.7	84	1	
12月	31	558	310	56%	3	56.0%	10.1	303	2.8	83	3	
1月	31	558	362	65%	17	68.0%	12.2	265	2.9	84	6	
2月	28	504	422	81%	74	95.0%	17.7	126	2.7	83	6	
3月	31	558	429	77%	44	85.0%	15.3	100	2.8	85	0	
合計	365	6570	4991	76%	173	78.8%	14.2	2094	2.8	84	41	

本館（従来型個室）ショートステイ（2床 併設・空床）

本館	日数	利用枠	純利用数	純利用率	空床利用	総利用率	1日平均	キャンセル	介護度平均	年齢平均	新規利用者
4月	30	60	44	73%	34	130.0%	1.5	34	4.4	79	0
5月	31	62	50	81%	22	116.0%	1.6	73	4.3	78	1
6月	30	60	48	80%	2	83.0%	1.6	35	3	79	2
7月	31	62	60	100%	24	135.0%	1.9	56	4	81	1
8月	31	62	43	69%	16	95.0%	1.4	72	4.3	80	1
9月	30	60	50	83%	24	123.0%	1.7	25	3.7	85	1
10月	31	62	37	60%	2	63.0%	1.3	39	4.5	79	0
11月	30	60	39	65%	14	88.0%	1.8	38	4.4	80	0
12月	31	62	30	50%	19	82.0%	1.6	83	3.8	77	0
1月	31	62	31	50%	0	50.0%	1.0	60	4.2	77	1
2月	28	56	38	66%	0	68.0%	1.4	37	4.3	82	0
3月	31	62	48	77%	23	115.0%	2.3	62	3	80	1
合計	365	730	518	71%	180	95.7%	1.6	614	4.0	80	8

※前年度との比較（ショートステイ）

	平成26年度	平成27年度	前年度比
ユニット型短期 総利用率（18床）	79%	78.8%	99.7%
従来型短期 総利用率（2床）	113%	95.7%	84.6%
ユニット型短期 平均介護度	2.9	2.8	96.5%
従来型短期 平均介護度	3.5	4.0	114.2%
ユニット型短期 1日平均利用者数（18床）	13.8人	14.2人	102.8%
従来型短期 1日平均利用者数（2床）	1.6人	1.6人	100%

【ユニット型特養部門～新館～】

【平成 27 年度 部門目標】

入居者の選択肢の拡大及び自己決定の尊重を引き続き行ないます。職員の情報共有の強化を図ります。

(職員方針)

その人らしく、暮らしを継続していくために、最後まで寄り添いながら、オーダーメイドの個別ケアを提供します。

平成 27 年度 項目別行動計画

職員教育について	①各業務についての手順書の作成を行います。手順書に合わせて情報の共有と新入職員教育を行います。 ②各委員会と活動担当者による内部研修を計画します。 ③各書類の取り扱いと根拠を明確にし、職員へ周知・指導します。 ④副主任を中心とした情報の共有と、課題に対してユニット・フロア会議の開催を行います。(不定期) ⑤役職者・フロア・ユニット会議に必要時は他部署の職員にも参加して頂き連携と情報の共有に努めます。
設備管理/コスト削減について	①排泄物品の見直しを図り適正な物品の使用を評価します。 ②入浴体制の見直しを図り、入居者の意向と適正な入浴についてを評価し、機械浴からユニットバスへ入浴の基本を移行します。
新館独自の行動計画について	①ユニット活動について計画と評価を明確にします。 ②入居者の選択肢の拡大の為に、ユニット単位でのサービス計画を行い、食事の時間の選択と飲み物の選択を実施します。 ③業務の透明化と責任と権限の明確化を行います。システムとして職員が働きやすく、問題が密室化しない環境を整えます。

【平成 27 年度活動の成果】

＜入浴の個浴化への移行について＞

H26 年 4 月 機械浴利用入居者数 28 名に対しユニットバスへの移行の可能性について評価し、H27 年 4 月機械浴利用入居者数 26 名 10 月機械浴利用者数 30 名 H28 年 2 月機械浴利用入居者数 27 名と推移している。この推移に関しては、新規入所者の機械浴対応の軽減や本入所入居者の対応見直しを行ってはいしたが、重度化に伴い特浴対象者が増えている実情があげられます。H28 年の展望としては、ユニットバス対応の推進の他、特浴や中間浴利用者に対しての個別支援の推進と環境整備を掲げ対応して行きます。

＜個別支援について＞

入居者の個々のニーズが高まっています。前年度以前の対応では当てはまらないケースの増加に対して個別支援の重要性を学んだ 1 年となりました。

ユニットを一つのグループに見立てた共通サービスでは個別支援は行えず、入居者の不満につながるケースもありました。今後新館全体としても各ユニット単位においても個別支援についてより深く考え実践して行きます。

＜情報共有とエビデンスケアについて＞

固定配置が難しくユニット間で応援が多い 1 年となりました。ユニットケアにおけるメリットである繊細な情報の共有化が、応援が多いことに置いて保てないケースがありました。28 年においてはエビデンスケアの推進の為、また入居者個々のニーズに適正に対応する為に固定配置の推進を行います。

【従来型特養～本館～】

【平成 27 年度 部門目標】

- ①職員同士のチーム力を高め目標に向かって一致団結していきます。
- ②業務中心の考えを廃止し、個別ケアを充実出来る様に努力します。

【平成 27 年度 項目別行動計画】

本館独自の行動計画について	各グループごとの行動計画・フロア会議を行い、職員同士の連携を深め同じ目標に向かいご利用者に充実した日々を送って頂く。認知症の勉強会を行い、ご利用者を理解し各担当者がご家族宛に日常生活の報告を行っていく。
---------------	---

ハナグループ「生活にメリハリのある1日を過ごして頂く」

- ①食事のメニューを声に出して読んで頂く。曜日ごとに誰読んで頂くか決め困難な方は職員が対応する。
- ②カレンダー作成…ホワイトボードに日付を書いて頂きその下にご利用者が描いた絵を貼る。
- ③日中のオムツ台車廃止しトートバッグで対応する。

ニジグループ「自立動作の向上を目指す」

- ①食事の蓋を自分で取る。
- ②レクを利用して体操等機能訓練を取り入れる。
- ③ニジの職員全員で考え行動に移す。

ツキグループ「多床室での個別ケア」

- ①年度の前半に担当ご利用者を決めどのような個別ケアを行っていくのかを決めて発表する。
- ②後半に実施して評価を行う。

ホシグループ「毎日余暇活動充実宣言!」

- ①ホシの職員でレクの勉強会を行う。
- ②前年度からの壁紙作成を継続しながら歌・手遊び・リハビリ・会話を行う。
- ③月刊のチェック表を作り毎日レクを行うようにする。

1年間を通してご利用者との距離を縮め寄り添う気持ちを育んでいく。

平成 27 年度 活動の成果

職員ひとり一人がレクリエーションを考え実行し、ご利用者の喜ばれる姿を傍で感じることでレクリエーションへの意識がさらに高まりました。

午後の入浴を週 6 日行っていたところを 4 日に調整し、レクリエーションの時間を設けた。

ショートステイの衣類取扱に課題が残り、マニュアルの見直しをはじめ、対策を考えてきました、引き続き次年度の課題となります。

服薬チェックの徹底を行うことが出来てきましたが、ちょっとした油断からのミス等がないように、次年度への対策の継続、改善が必要となります。

【短期入所部門】

【平成 27 年度 部門目標】

各ユニットの特色をだしていき、専門職としてのコミュニケーション、介護技術、知識の質と量を向上させ個別に合わせたサービスにつなげる。

平成 27 年度 項目別行動計画

ケアサービスの向上について	<ul style="list-style-type: none"> ・入所連絡表を医務、相談員と話し合い書式を新しく作り直し、介護側で連絡表(利用者のADL)の更新を図る事で、常に新しい情報を職員間で共有でき、ケア、サービスの向上につなげていく。 ・緊急時の対策をショート内で研修、マニュアルを作成し緊急時の統一を図る。 ・ssケアプラン: 適宜かつ、適時性のあるプランを計画し、サービスを提供をできるよう相談員・介護主任とで連携し随時作成して行く。 ・忘れ物チェックのシステムの向上。(26年度の忘れ物原因を見直し、27年度に向ける)
コスト削減について適切な運用	<ul style="list-style-type: none"> ①利用者様に安全なサービスと不備のない対応が常に行えるために日頃より職員1人1人が設備や物品に対し丁寧に扱うようにする ②必要な物品、行事等各ユニットリーダーが把握し、ユニット費を適切に運用していく。
ショートステイ部門独自の行動計画について	<ul style="list-style-type: none"> ①外出レク、おやつレクの質の向上を図る(26年度よりも行事の回数、バリエーションを増やしサービスの向上につなげる。) ②各職員研修などをし、介護技術の向上。各ユニットでも会議を行い特色を見出し、個別に合わせたサービスの質を上げる。 ③相談員、医務とのミーティングを定期的に行い、他部署との連携を深めショートステイ全体の業務をスムーズに遂行していく。

平成 27 年度 活動の成果

各ユニットの特色を出していくことを目標にあげ、モモは外出レクや、お祭りなど、レクリエーションを中心とした活動が増えてきました。モクレンはご利用者様の暮らしの継続目標に、個別ケアを意識し、毎月のユニット会議開催し職員間での情報共有を図っています。徐々にですが各ユニットの特色を考えおこなえてきていると思います。

ご利用者の私物忘れ物が22件。前年度よりも7件増えてしまい、原因を見直し減らしていきたいと思えます。服薬介助のチェックもれもあったため、もう一度服薬の流れを職員間で共有、把握し28年度はケアレスミス0を目指していきたいと思えます。

【栄養部門】

【平成 27 年度 部門目標】

方針・目標：『ご利用者様の一人ひとりに対する食に対する満足を目指し、安全で栄養状態の維持・向上が出来る食事を提供する』

具体的な取り組みの目標：①栄養ケアマネジメントの見直し ②提供献立の充実

平成 27 年度 項目別行動計画

職員指導、献立について	<p>◎衛生管理マニュアルに則った衛生管理の実施 →調理・調理従事者の衛生管理実施内容を給食日誌へ毎日記入。</p> <p>◎ご利用者様に喜んで頂ける食事の提供 →引き続き、選択食やテーマ献立の実施など、献立の充実に努めていく。 →給食・配食などで出されたクレームについて随時、報告(報告書)・情報の共有を徹底し、再発防止に努めていく。</p>
設備管理/コスト削減について	<p>◎厨房機器の故障による修理、食器類の「消耗品の入れ替えによるコスト削減について →機械の手入れ・清潔保持を徹底していく。 →食器類など消耗品について、安全な食器での食事提供のため、点検や管理に取り組んでいきたい。</p>
配食サービス等について	<p>◎ふれあい給食ご利用者様に満足して頂けるお弁当の提供 ・昨年度、食数ミスが目立った。都度、原因や対策を話し合ってきたので、今年度はなくしていきたい。 ・ふれあい給食連絡会で提示される、ご利用者様の意見など参考にいく。食形態なども対応していく。 ・相模原市社会福祉協議会と連携し、行事食を実施する他に、施設での行事とも並行し、配食ご利用者にも、季節や行事を楽しんで頂く。</p>
管理栄養士独自の取組	<p>◎栄養ケアマネジメントの見直し →実施指導での指摘事項の改善。(短期評価)</p> <p>◎提供献立の充実 →昨年度、新しい行事の導入やユニットケア活動など、行事の流れに変化があった1年であった。昨年度の状況を踏まえ、今年度も行事の中で栄養部門としての役割をはたしていきたい。</p>

平成 27 年度 活動の成果

＜栄養マネジメントについて＞

対象の利用者へのアセスメント、家族が参加された時は、家族の希望もしっかりと聞き、利用者の食形態を確認しました。介護側の理解もしっかりとさせていただき、管理栄養士一人の計画にはなりますが、他職種協働でしっかりと利用者に向き合えたと思います。

＜行事食について＞

ご当地食と誕生会、季節に合わせた食事をイベント食として提供しました。利用者からは好評だった反面、家族交流会の際に普段粥提供の利用者にも本人希望として常食を提供したが摂食嚥下機能の評価が不十分になってしまったことが反省点でした。理由としては、利用社の意見に沿った考えを優先した結果、体調を考慮すべきことが欠けていたと思います。

＜特養部栄養士会について＞

副部長として部会の出席と、来年度部長に向けた引き継ぎを行いました。

＜厨房物品について＞

厨房器具の故障、介助スプーンの不足、自助食器の不足があり、新規購入しました。長く使用するため、各部署に扱い方を把握していただきました。

ふれあい給食実績

平成25年度配食数(食)		平成26年度配食数(食)		平成27年度配食数(食)	
4月	466	4月	471	4月	364
5月	443	5月	508	5月	402
6月	392	6月	479	6月	425
7月	428	7月	478	7月	424
8月	442	8月	448	8月	425
9月	434	9月	445	9月	424
10月	416	10月	455	10月	470
11月	414	11月	412	11月	496
12月	410	12月	408	12月	502
1月	439	1月	365	1月	530
2月	462	2月	359	2月	550
3月	476	3月	384	3月	569
合計	5,222	合計	5,212	合計	5,581

前年比 107%

<相模原市社会福祉協議会との連携について>

～利用者個人宅への直送への取組～

平成 27 年 11 月 15 日より、田名塩田の S 様のお宅へ配食事業の直送を開始しています。

配食担当ドライバーが毎日お弁当を届ける際に、S 様の近況を確認していただき、管理栄養士が報告を受け、困っていることや緊急の際は、相模原市社会福祉協議会に連絡、報告をしています。

今後も直送依頼等の個別対応に対しても、可能な限り対応しながら相模原市社会福祉協議会と連携を深めていきたいと考えています。

【医務部門】

【平成 27 年度 部門目標】

- 1.適切な健康管理、内服管理のために、関連した業務やマニュアルの見直しをおこない、安心・確実な健康管理、内服管理が実施できる。そのための多職種との調整をおこなう。
- 2.看取り希望者が、最期まで安心してホームで暮らせるよう看取りケアについて研修参加してゆく。
- 3.ユニットケアの実戦へ向けて研修参加してゆく。
- 4.ショートステイ部門にて多職種での連携をはかる。

平成 27 年度 項目別行動計画

職員指導について	①入職時業務マニュアルを使用し、OJTによりオリエンテーション実施する。 (提供する看護ケアの質の維持) ②外部研修に参加し参加職員による内部研修へつなげてゆく。
利用者健康管理、機能訓練等について	①申し送りを利用し日常の体調不良については、早期対応(受診検討や医師報告等)できるよう調整する。 ②誕生日とその半年後の健康診断の結果を本人・家族に報告し、また、職員間で情報の共有化をはかり、よりよい暮らしにつなげてゆく。 ③生活リハを中心にADL向上につながるよう、アドバイスや実施指導を行ってゆく。 ④ショート部門にて緊急の入退所に対応できるよう調整する。
設備管理/コスト削減について	①医療材料の過不足なく物品管理を行う。 ②医療機器の点検・管理を定期的に行う ③人員配置の調整や業務の見直しにより、残業を減らす。
医務室独自の行動計画について	①委員会、ケアの担当、内服管理など業務分担をおこなう。新規 ユニットケアと看取りケアについて ②看取り対象となる方があった時、医療やケア実施について統一した対応ができるようカンファレンスを実施する。(医務室内での統一、および職員間への統一)委員会の参加

平成 27 年度 活動の成果

27 年度は常勤看護師が 4 名となったこともあり、従来型・ユニット型・ショートステイと担当者を決めました。情報交換をしつつ、朝の申し送りを活用して、利用者の方向性を決め、各担当者に他部署との連携をとってケアに当たってもらいました。最初は担当者が利用者のケア判断に消極的でしたが、自分の担当と意識づけができたと思います。

一方で、担当外の利用者の情報と動きが見えづらくなったところもあり、次年度は新しく記録の電子化をはかることで、情報が得やすくなることに期待をしています。ショートでは利用者層に変化があり、医療行為が多くなり、今までよりもさらにケア度が上がってきています。また、緊急での受け入れなど、柔軟に対応ができるよう取り組みを行ってきました。まだ試行錯誤しながら取り組んでいることを、今後は定着できるよう業務改善を考えていきます。

【デイサービスセンター】

【平成 27 年度 部門目標】

塩田ホームのデイサービスを利用して良かったと感じてもらえるように、利用満足度の向上を強化していきます。利用者が安心して利用できるように体制をつくとともに、職員に対しても働きやすい労働環境を見直し、離職の防止に努めていきます。

平成 27 年度 項目別行動計画

ケアサービスの向上について	「慈・憩・喜」の精神に基づき、家族様にはレスパイトケアの充実、利用者様には在宅生活に必要な生活動作の維持や低下防止、健康面での変化を早期に発見できるような観察力を強化し、ご家族様又は医療機関へ積極的な情報提供や、個別機能訓練の達成度を上げる事で、現在の在宅生活を維持できるよう新たな取り組みに合う加算を積極的に取得しながら環境や支援体制を構築していきます。また、共通認識の支援方針・内容を周知徹底し、サービスの平等性を確保していきます。
職員教育(安全対策等)について	利用者様にとって安全で安心とは何かを職員が体感し、危険で不安なことを理解する所内研修を実施します。具体的には送迎・入浴・更衣・排泄・食事・移乗・与薬などにおける安全対策や事故発生時の対処方法など多くの研修に参加させて頂くことで、参加した職員が中心となり、座学、実技を取り入れた実のある職員会議を開催します。
設備管理/コスト削減について	利用者数増員に伴い、必要なもの、そうでないものとの判断を誤らず無駄にならない購入を徹底し、利用者様に安全なサービスと不備のない対応が常に行えるために日頃より職員1人1人が設備や物品に対し丁寧に扱うこと、多量なストックの禁止、必要にお応じた在庫管理など職員全員が共通認識の上で関り購入金額、修理費用など諸費用面も共有の情報を得ることで限りある資源や予算に責任ある行動をとれるよう心がけます。
デイサービス部門独自の行動計画について	季節の行事や地域の催し日程を職員が把握することで、可能な限り社会参加出来るように企画していきます。又通常のレクリエーションでのマンネリ化を防ぐためにも、専門書物や情報機関誌など根拠のある機能訓練を多く活用し、適度な変化をつけていくことで心身の活性化をはかります。又、専門職としてキャリアアップの為の外部研修や資格取得に積極的に取り組みます。

平成 27 年度 活動の成果

<全体を通しての振り返り>

27年度の基本指針に従い在宅介護についての勉強会を全員参加で回数を重ね実施することができました。認知症実践者研修に参加した事で「課題を持ち、共に取り組み、結果を出す」事の達成感を共有し、これまでの「今更介護の知らないことを聞けない」という消極的だった姿勢が学びの喜びを知ることで積極的な関わりへと変化する姿がみられました。

認知症の方の心の声の触れ合いを忘れず、「利用者寄り添える介護」に基づき心のケアだけではなく身体介護の充実を目標に持ちこれからの在宅介護をさらに学び、ご家族からの信頼を得られる事業所作りを行いたいと思います。

通所介護 平成27年度 利用実績(H27.4～H28.3)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護度													
支援1	5	4	4	5	4	4	5	4	4	4	4	4	51
支援2	34	37	39	36	34	42	42	34	38	30	24	36	426
要介護1	112	100	123	120	123	124	123	111	112	102	99	121	1370
要介護2	159	154	159	163	131	134	134	130	131	111	103	122	1631
要介護3	102	119	129	123	115	101	101	108	104	86	84	136	1308
要介護4	12	12	11	18	8	5	3	13	28	27	41	49	227
いきがい	7	5	4	5	4	5	8	8	8	5	4	0	63
合計	431	431	470	470	419	415	415	408	418	369	363	468	5077
前年度	368	408	406	456	427	423	432	363	346	333	371	411	4744

前年度比 107%

<年間の主な通所介護イベント(実績)>

平成27年度 塩田ホームデイサービス イベント実績

	イベント内容
4月	・桜見学/3日(18名)4日(13名)6日(15名) ・芝桜見学 ・手作りおやつ「プリン」14日(20名)17日(17名) ・ご当地レクリエーション/静岡県23日(18名)
5月	・鯉のぼり見学1日(19名) ・手作り小物/かご作11,12,13,14(48名全員) ・バラ見学18日15名19日(21名)13日(11名)14日(18名) ・ご当地レクリエーション/長野県(19名)
6月	・外食レクリエーション(出前寿司)10日(15名)11日(23名) ・紫陽花見学22日(19名)23日(22名) ・ご当地レクリエーション/群馬県29日(17名)
7月	・七夕企画「流しそうめん/カラオケ大会」7日(19名) ・手作りおやつ「ハニートースト」16日(16名)17日(16名) ・ご当地レクリエーション/京都府29日(14名)
8月	・手作り小物/うちわ作り24、25、26日(43名全員) ・お盆企画/きもだめし13日(11名) ・スイカ割り14日(13名)15日(13名) ・ご当地レクリエーション/三重県25日(19名)
9月	・敬老の日企画/バーベキュー大会22日(20名) ・外食レクリエーション9日(15名)11日(21名) ・ご当地レクリエーション/新潟県28日(18名)
10月	・体力測定1～7日(全員参加) ・手作りおやつ「ホットドック」12日(19名)13日(18名) ・大運動会21日(15名)22日(18名) ・ご当地レクリエーション/山形県(18名)
11月	・手作り小物/年賀状23、24、25,26日(43名全員) ・紅葉狩りドライブ26日(22名)27日(21名) ・ご当地レクリエーション/秋田県19日(18名)
12月	・ご当地レクリエーション/兵庫県15日(19名) ・クリスマス会25日(17名) ・27年度忘年会(外食レクリエーション含む)29日(22名) ・敷下様100歳のお祝い18日(21名)
1月	・初詣「田名八幡宮」6日(11名)7日(19名) ・28年度新年会25日(17名) ・ご当地レクリエーション/福井県29日(20名)
2月	・節分イベント4日(16名) ・手作りおやつ「たこ焼き」16日(18名)17日(8名) ・バレンタイン13日(15名) ・ご当地レクリエーション/福島県(12名)
3月	・ひな祭りイベント「民族資料館見学」3日(17名) ・外食レクリエーション「中華」10日(20名) ・ホワイトデー14日(17名) ・ご当地レクリエーション/千葉県22日(19名) ・梅見学「城山梅林道」23日(13名)24日(22名)
不定期	* 外部ボランティア演奏
毎月開催	* 誕生会(誕生日に合わせて開催しています。) * サプライズデイ(季節、当日の状況、利用者様のニーズなどにより時には予定無しの場合、楽しいビックリなレクリエーションを提供しています。)

平成27年度 通所職員会議 / 外部・内部研修

4月	30日(木) 21日(火)	職員会議 ・倫理/法令遵守について(内部研修) ・通所におけるこれからの機能訓練(外部研修)
5月	29日(金)	職員会議 ・待遇について(内部研修)
6月	24日(水)	職員会議 ・感染症と食中毒について(内部研修)
7月	24日(金)	職員会議 ・認知症ケアについて(内部研修)
8月	24日(月)	職員会議 ・介護事故/再発防止について(内部研修)
9月	18日(金)	職員会議 ・嚥下体操/口腔ケア/誤嚥防止(内部研修)
10月	16日(金)	職員会議 ・予防介護及び要介護度進行予防について(内部研修)
11月	16日(月)	職員会議 ・インフルエンザ対策について(内部研修)
12月	28日(月)	職員会議 ・ノロウィルスの処理について(内部研修)
1月	27日(水) 21日(木)26日(火)	職員会議 ・アルツハイマー型その他(内部研修) 認知症/倫理、理念について(認知症実践者研修より)
2月	29日(月) 9日(火)22日(月)	職員会議 ・気づきとは(内部研修) 認知症、周辺症状について(認知症実践者研修より)
3月	16日(水)	職員会議 ・非常災害時の対応/避難訓練について(内部研修)

【訪問介護】

【平成 27 年度 部門目標】

- ・より良いサービスの提供を継続するために情報の交換・共有に努め共通の視点でサービスを提供していくと共に利用者の生活や心身に関わる変化を見落とさないように常に『気づき』の目を養っていく。
- ・新たな利用者を獲得し、業績改善に努めていくとともに、サービスの質の向上を常に目指していく。
- ・利用者から計画書にないサービスを求められた際は、自己判断せず必ず責任者へ確認し指示を仰ぐように周知徹底する。

平成 27 年度 項目別行動計画

職員教育(ケアサービスの向上)について	<p>主な研修内容/・1年6回内部研修・新人研修(ヘルパー同行等)・外部研修(サービス提供責任者)</p> <p>採用時研修では、ヘルパーと同行訪問し、適切なサービスを提供できるように指導します。継続研修では、人権の擁護、虐待の防止、適正な介護技術の実施をテーマとし取り組んでいきます。</p> <p>・制度改正による変更点を周知徹底していきます。</p>
職員教育(安全対策等)について	<p>内部研修テーマ/(ストレスへの気づき・腰痛防止・記録の書き方)</p> <p>情報交換や業務内容の確認の場とし、個別のケース検討及びサービスの評価に努め、共通の視点でサービスを提供していくとともに、利用者の生活や心身に関わる変化を見落とさないように常に“気づき”の視点を養っていくように取り組んでいきます。</p>
設備管理/コスト削減について	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供責任者も支援に入るが、急な問い合わせや相談などにも迅速に対応できるように努めていく。 ・ホーム周辺のお宅は、出来るだけ徒歩又は自転車で移動する。 ・サービス提供中に利用者の病状の急変、その他緊急事態が生じたときは、速やかに主治医に連絡する体制をとり、管理者に報告する。主治医への連絡が困難な時は、医療機関への緊急搬送等必要な措置を講ずる。
訪問介護部門独自の行動計画について	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険としてサービス提供が可能となる範囲を改めて周知し、ヘルパーの独断によるサービスを提供してはならないことを徹底する。 ・ヘルパーとしての自覚を持つ(内部研修の強化を図り、ヘルパーの資質の向上を目指す) ・ご利用者の声をしっかりと受け止め、サービスの満足度を向上させていく。 ・利用者からの相談、苦情には、迅速かつ適切に対応し、必要な措置を講ずる。必要に応じ第三者委員、市町村、国保連に協力を得る。

平成 27 年度 活動の成果

27年度を振り返り、サービスの向上、安全対策など、ヘルパー会議時にその都度課題をあげて、皆で話し合いながら解決し少しずつですが、ヘルパーとしての自覚と笑顔でサービスを提供することができるようになりました。

また、新しい障害者のための居宅サービスや移動支援などに取り組み、利用者も増えています。地域の人たちに喜んで頂けるようなサービスを、これからも提供していきたいと考えています。

平成27年度

訪問介護利用一覧表

塩田ホーム訪問介護ステーション

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	延合計
利用者人数	52	52	51	52	50	51	49	51	50	49	48	47	50.17	602
利用回数	489	490	504	514	472	456	440	452	455	445	457	451	468.75	5625
訪問介護員人数(サ責)	11(3)	11(3)	11(3)	11(3)	11(3)	12(3)	12(3)	12(3)	12(3)	12(3)	13(3)	13(3)		
要支援1	5	4	4	5	4	4	4	5	4	4	4	4	4.25	51
要支援2	7	9	9	8	8	8	7	6	7	7	7	7	7.50	90
要介護1	10	7	6	7	7	7	7	7	6	6	6	5	6.75	81
要介護2	18	18	18	19	19	19	18	18	17	16	15	16	17.58	211
要介護3	4	4	3	2	2	1	2	3	2	2	2	3	2.50	30
要介護4	4	6	7	7	5	6	5	6	7	7	6	5	5.92	71
要介護5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.00	12
障 害	0	0	0	0	1	1	2	3	4	4	5	4	2.00	24
移動支援	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	3	2	0.92	11
自 立	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	1	1	2.42	29
有償運送利用数	28	18	34	30	6	11	17	22	16	30	30	40	23.50	282

<福祉有償運送事業実績比較>

	平成 26 年度	平成 27 年度	前年比
登録者数(人)	9	16	177%
運送回数(回)	94	282	300%
運送距離(km)	428	1,684	393%

※運送回数は片道を1回とする

<(介護予防)訪問介護サービス/障害福祉サービス居宅介護/社協いきがい家事援助等実績比較>

	平成 26 年度	平成 27 年度	前年比
介護利用者人数(延)	594	602	101%
介護利用回数(延)	5617	5,625	100.1%
障害利用者回数(延)	—	24	—
ガイドヘルプ回数(延)	—	11	—
自立(社協家事援助 延)	42	29	69%

平成27年度 訪問介護 ヘルパー会議 / 外部・内部研修

4月	4月21日(火)	・ヘルパー会議 ・ヘルパー接遇について(内部研修)
5月	5月26日(火)	・ヘルパー会議 ・介護技術について(内部研修)
	5月22日(金)	・サービス提供責任者初任者研修(外部研修)
	5月30日(土)31日(日)	・福祉有償運送運転者資格運転講習会(外部研修)
6月	6月30日(火)	・ヘルパー会議 ・法令遵守について(内部研修)
	6月12日(金)	・サービス提供責任者初任者研修(外部研修)
7月	7月21日(火)	・ヘルパー会議
8月	8月20、27日(木)	・サービス提供責任者現任研修 (外部研修)
9月	9月29日(火)	・ヘルパー会議 ・記録について(内部研修)
	9月28日(月)	・接遇・コミュニケーションについて(施設内研修) ・精神科ってこんなところ(外部研修)
	9月10、17日(木)	・サービス提供責任者現任研修 (外部研修)
10月	10月27日(火)	・ヘルパー会議 ・食中毒・感染症・インフルエンザについて
11月	11月17日(火)	・ヘルパー会議 ・身体にかかる圧の影響と対策について(内部研修)
12月	12月8日(火)	・ヘルパー会議 ・認知症対応について(内部研修)
1月	1月26日(火)	・ヘルパー会議 ・ヒヤリハットと事故防止(内部研修)
2月	2月23日(火)	・精神障害の地域生活を支えるために必要な視点を考える(外部研修)
3月	3月29日(火)	・ヘルパー会議 ・訪問介護員としての心構え(内部研修)

【居宅介護支援事業所】

【平成 27 年度 部門目標】

各種研修や事例検討会に積極的に参加し、一人一人のスキルアップを図り適切な介護計画が提供ができる能力を身に付けていきます。また、どのようなケースにも対応できるよう、介護保険以外の知識も身に付ける機会を持ち、広く地域に貢献していける事業所を目指します。

平成 27 年度 項目別行動計画

職員教育(ケアマネジメントサービスの向上)について	在宅の介護保険利用者のニーズに沿った介護計画を立案し、的確なサービスの調整ができるよう、アセスメント能力や面接力の向上を目指し、各種研修への参加や事業所内での情報共有を積極的に行う。また、法人内の他のサービス(訪問、通所、短期入所、本入所)との連携を密にして、ご利用者やご家族の立場に立った、連続性のあるきめ細かいサービスの提供ができるようにする。
職員教育(相談援助環境の向上等)について	年々、独居や老老介護、障害や持病をお持ちの在宅要介護者が増えて来ており、これまで以上に柔軟な対応ができる体制が必要になっている。また介護にあたるご家族にも様々な事情や要望があり、それぞれのご利用者が置かれている状況をより的確に把握できるように、さらなるアセスメント力の強化を図るとともに、相談しやすい環境や姿勢などを身に付けていく。
設備管理/コスト削減について(共通)	節電のため、訪問時に事務所が無人になる際などには消灯し、エアコンやパソコンもオフにするなどを徹底する。また、コピーの仕損じなどにも注意して無駄な用紙が出ないように意識する。室内の温度も温め過ぎず、冷やし過ぎず、服装などで調整する。
居宅介護支援事業所部門独自の行動計画について	昨年9月からケアマネージャー5名体制となり、担当可能件数が大幅に増えた。今後も新規利用者の獲得のため、各地域包括支援センターとの関係を密にしていく。また、それぞれが担当しているケースの情報を事業所全体で共有できるよう定期的に事例検討を行ったり、支援困難ケースについては検討会議も随時行いながら対策を講じていくためのシステムを作り上げる。

平成 27 年度 活動の結果

平成 27 年度は目標である 175 名には届かなかったものの、少しずつ件数を伸ばすことができました。年度末になり人員の交代で件数の減少がありました。新たに経験豊富なケアマネージャーの入職によりこれまでになかった視点で問題の解決に向けて取り組んでいけるものと考えています。

また、各地域の福祉施設や高齢者支援センター、居宅介護支援事業所、地域の役員(自治会、民生委員等)との「地域ケア会議」にも積極的に参加して情報交換を行い、介護保険だけではなく、地域の様々な力を使って困難事例に対応していく方法を模索していきます。

年度終盤は制度の見直しや介護ソフトの変更など、事務的な部分での業務が多く戸惑うこともありました。引き続き担当件数の増加と各ケアマネージャーの能力の向上を目指して業務を行っていきたいと考えています。

居宅介護支援事業所担当件数実績

平成 25 年度 居宅介護支援事業所実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	84	90	92	91	86	87	86	90	89	84	87	94	974
支援	15	15	15	15	18	17	17	17	18	22	22	22	213

平成 26 年度 居宅介護支援事業所実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	95	101	107	111	114	120	130	127	134	129	137	141	1446
支援	24	26	27	27	20	27	28	29	29	29	29	29	324

平成27年度 居宅介護支援事業所実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護	138	137	145	148	148	147	147	142	143	138	136	129	1698
支援	12	12	13	15	15	15	15	15	15	15	15	12	167

平成27年度 平均(一人当たり)担当件数(介護 3月31日時点)	25.8件
平成27年度 平均(一人当たり)担当件数(予防 3月31日時点)	3.0件
前年度比率(介護延担当件数 対 平成26年度)	117%
前年度比率(予防延担当件数 対 平成26年度)	51%

【事務部門】

【平成 27 年度 目標】

これまでに導入している業者や物品等を可能な限り見直し、新たな業者や物品等を検討し、積極的な経費削減をすすめていくとともに、節電・節水等の省エネ対策を今まで以上に職員へ周知していく。

全ての職員が安心して従事できる環境を整備するとともに、今まで以上に労務管理を徹底する。

平成 27 年度 部門別目標

職員教育/総務・労務管理について	<ul style="list-style-type: none"> ●10月より交付されるマイナンバー制度の周知、また制度開始に伴い個人情報管理体制の準備を進める。 ●12月よりストレスチェック制度が施行予定。 医療機関、相談・情報機関等と連携を図り、ストレスチェックを実施する。職場環境の改善により心理的負担を軽減させること、労働者のストレスマネジメントの向上を促すことを目的とする。
設備管理/経理管理について	<ul style="list-style-type: none"> ●設備管理:現状の機能や価格、導入経緯等を可能な限り確認し、費用対効果の適正や必要性を見極める。その上で他の業者と競合し、業者を選定する。 ●経費削減:物品管理を徹底し、いくらでも制限なく使用するのではなく、必要に応じた数量を適正に使用する方針へと変換する(電気・水道・ガスも同様に適正な使用を周知する)。事前申請にて時間外勤務が認められている場合を除き、勤務時間終了後30分未満に退勤することを義務付け、必要以上の時間外勤務を削減する。
事務部門独自の行動計画について	各種書類の提出及び関係機関への登録手続き(勤怠管理の徹底)、健康診断の確実な案内及び受診の励行周知、従業員からの質問及び相談事に対する迅速な対応や適正な返答、働きやすい環境づくりに励み、他部署を積極的に支援できる体制を整えていくため、規則・制度の理解を深め、外部研修や勉強会の参加を考えていく。

平成 27 年度 活動の成果

平成27年度もコスト意識を常に保ち活動することができました。通常の年度の取り組みだけでなく、ストレスチェック、マイナンバー、介護ソフト変更など様々な内容に柔軟に対応することができました。

職場環境については、労働衛生委員会を中心に、メンバー各人が意識して施設内の整理整頓を進め、外部の方の目線に立って環境を整えることの意識が向上しました。

また、職員のスキルアップ支援については、研修への参加を積極的に促し、様々な研修機関を利用し外部研修へは延べ 101 名、内部研修は 13 回開催し延べ 381 名が参加しました。

平成27年11月には事務主任が加わり1人の部署から2人の部署に変わりました。勤怠管理、請求業務等の中で課題になっていたことに対して、一つ一つの業務の精度向上に資する取り組みに着手することができました。部署間での連携が活発になり、部署としての意見や考えを伝えることができるようになってきたことを今後も継続した活動として取り組んでいきたいと思ひます。

平成27年度 塩田ホーム 職員数比較表

部門	特養		通所		訪問		居宅		小計		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
平成26年度末 (H27.3)	常勤		常勤		常勤		常勤		常勤		70	119
	31	29	2	1	0	2	2	3	35	35		
	非常勤		非常勤		非常勤		非常勤		非常勤		49	
9	23	2	4	0	11	0	0	11	38			
平成27年度末 (H28.3)	常勤		常勤		常勤		常勤		常勤		74	124
	30	33	2	1	0	3	1	4	33	41		
	非常勤		非常勤		非常勤		非常勤		非常勤		50	
6	23	3	7	0	11	0	0	9	41			

※施設…特養介護職、生活相談員、医務室スタッフ、事務員、宿直スタッフ、送迎スタッフ

平成27年度 退職者数

介護職(常勤)	4名
介護職(非常勤)	3名
居宅(常勤)	1名
管理栄養士	1名
登録ヘルパー	2名
その他(非常勤)	3名
合計	14名

平成27年度 入職者数

介護職(常勤)	5名
介護職(非常勤)	3名
看護職(常勤)	1名
管理栄養士	1名
居宅(常勤)	1名
通所介護(非常勤)	4名
登録ヘルパー	2名
その他(非常勤)	2名
合計	19名

※すべて自己都合による

平成27年度 施設内研修実績

日付	研修名	参加人数
5/12.15	個別機能訓練加算の算定に伴って	25名
5/21	認知症勉強会	20名
6/16.18	感染症の基礎知識	48名
7/29	法令順守勉強会	10名
8/5	紙おむつの勉強会	20名
9/28.10/5	接遇・コミュニケーションセミナー	68名
11/5	特養における生活リハビリのポイントと方針	30名
11/12.13	感染症勉強会	49名
11/17	身体にかかる圧の影響と対策	4名
11/20	排泄勉強会	27名
12/22	事故対策勉強会	27名
1/21	スキンケアと紙おむつ排泄ケアに関する感染対策	25名
2/22	転倒転落対策セミナー	28名

平成27年度 施設外研修実績

日付	参加研修名	参加部署	参加人数
4/21	機能訓練体操の充実で利用者満足とADL改善を手にする方法セミナー	通所	1
5/22	サービス提供責任者初任者研修	訪問	1
5/29	かながわライフサポート事業 多重責務	相談援助	1
5/30.31	福祉有償運送運転者資格講習	訪問	1
6/2 (6日間)	喀痰吸引等第1.2号研修	介護	1
6/10	医療的ケア教員講習会	医務	3
6/12	サービス提供責任者初任者研修	訪問	1
6/23	かながわライフサポート事業 第1回事例検討会	相談援助	1
6/23	社会福祉施設等防火実務研修会	相談援助 介護	2
7/1 (4日間)	喀痰吸引等第1・2号研修	介護	1
7/3.8	特定給食施設等管理者及び従事者講習会	栄養士	1
7/7.8	機能訓練指導員研修	医務	2
7/8	かながわ高齢者福祉研究大会	介護	3
7/10	ボランティアコーディネーター研修	相談援助	1
7/10	くすりの基礎知識	通所 訪問	2
7/14	マイナンバー制度、メンタルヘルス研修	事務	1
7/15	対話を通して、連携の在り方を考える	訪問	1
7/22 (3日間)	ユニットリーダー研修	介護	1
7/30	介護職による医療的ケア	介護	1
8/4	かながわライフサポート事業 相続・遺言について	相談援助	1
8/5	看取り介護 利用者や介護者の支援を考える	介護	2
8/6	衛生推進者養成講習会	事務	1
8/10 (4日間)	介護福祉士実習指導者講習会	介護	1
8/11.14	相模原市主催 認定調査員(新任)研修	介護	1
8/19.27	喀痰吸引等研修	介護	2
8/20.27	サービス提供責任者現任者研修	訪問	1
8/25	接遇について 利用者との信頼関係を気付く	通所 介護	2
9/1 (4日間)	喀痰吸引等研修	介護	2

日付	参加研修名	参加部署	参加人数
9/7 (5日間)	ユニットリーダー研修	介護	1
9/8	かながわライフサポート事業 第2回事例検討会	相談援助	1
9/10.17	サービス提供責任者現任者研修	訪問	1
9/11	高齢者施設等救急講習会	医務 介護	2
9/15	かながわライフサポート事業 税金について	相談援助	1
9/25	メンタルケアについて エコグラムを使った心の理解	通所	2
9/28	メンタルヘルス市民講座	訪問	3
10/3	キャラバン・メイト連絡会	居宅	2
10/5	スーパービジョン特別研修会	介護	1
10/5	要介護高齢者が安全に食べ続けるための食事介護スキル	介護	2
10/5 (3日間)	喀痰吸引等研修	介護	1
10/7 (3日間)	喀痰吸引等研修	介護	1
10/7 (4日間)	市民後見人養成研修	相談援助	1
10/8	マイナンバー制度と社会福祉施設における対応	事務	1
11/4	かながわライフサポート事業 住まいにまつわる法律相談	相談援助	1
11/4 (8日間)	ユニットリーダー研修	介護	1
11/5 (4日間)	介護職員初任者研修	介護	1
11/6 (4日間)	市民後見人養成研修	相談援助	1
11/11.13	認定調査員新任研修	居宅 訪問	2
11/17.24	介護支援専門員研修課程ⅡAコース	居宅	1
12/1	介護支援専門員研修課程ⅡAコース	居宅	1
12/2 (3日間)	介護支援専門員研修課程Ⅰ	居宅	1
12/3 (4日間)	介護職員初任者研修	介護	1
12/8	かながわライフサポート事業 第3回事例検討会	相談援助	1
1/5 (7日間)	認知症介護実践者研修	通所	1
1/7 (4日間)	介護職員初任者研修	介護	1
1/7 (3日間)	介護支援専門員研修課程Ⅰ	居宅	1
1/13 (3日間)	介護支援専門員研修課程ⅡBコース	居宅	1

日付	参加研修名	参加部署	参加人数
1/15 (3日間)	市民後見人養成研修	相談援助	1
1月19日	相模原市介護支援専門員研修会〈精神疾患という考え方〉	居宅	2
1/22	かながわライフサポート事業 成年後見制度	相談援助	1
1/28	チームケアにおける生活相談員の役割	相談援助	3
2/2 (3日間)	介護支援専門員研修課程ⅡBコース	居宅	1
2/3	介護支援専門員研修課程ⅡBコース	居宅	1
2/4.18	介護職員初任者研修	介護	1
2/5	市民後見人養成研修	相談援助	1
2/14	認定調査員現任研修	居宅	1
2/23	平成27年度 地域支援研修	訪問	7
2/25	かながわライフサポート事業 労働保障・雇用・年金について	相談援助	1
3/1	認知症介護実践者研修	通所	1
3/1	無印良品の人の育て方	施設長	1
3/4.11	市民後見人養成研修	相談援助	1
3月8日	かながわライフサポート事業 第4回事例検討会	相談援助	1
3月10日	ユニットリーダー研修フォローアップ研修	介護	3

※部署(職種)別研修参加実績(外部研修)

部署(職種)	延べ人数
施設長	1
事務	3
相談援助	20
医務	6
栄養士	1
居宅	13
訪問	18
デイ	7
介護	32
合計	101

〈平成 27 年度 社会福祉法人大地の会 会議運営状況実績〉

(本部)

第1回理事会及び評議員会 平成 27 年 5 月 26 日(火)開催

〈審議内容〉

- 第 1 号議案 平成 26 年度事業報告
- 第 2 号議案 平成 26 年度収支決算報告並びに監査報告
- 第 3 号議案 移動支援事業開始と定款変更について
- 第 4 号議案 町田市特養整備計画(公募)について
- 第 5 号議案 次回日程について
- 第 6 号議案 その他〈次回理事会及び評議員会確認事項〉

第 2 回理事会及び評議員会 平成 27 年 10 月 20 日(火)開催

〈審議内容〉

- 第 1 号議案 評議員等の任期満了に伴う選任について
- 第 2 号議案 定款の変更について(評議員定数の変更について)
- 第 3 号議案 塩田ホーム管理規定の改正について
- 第 4 号議案 塩田ホーム職員給与規定の改正について
- 第 5 号議案 塩田ホーム特定個人情報等取扱規程の制定について
- 第 6 号議案 塩田ホーム就業規則の改正について
- 第 7 号議案 次回日程について
- 第 8 号議案 その他〈報告事項〉

第 3 回理事会及び評議員会 平成 28 年 1 月 25 日(月)

〈審議内容〉

- 第 1 号議案 平成 27 年度予算の補正並びに積立資産支出の計上について
- 第 2 号議案 理事の定数について
- 第 3 号議案 評議員の定数について
- 第 4 号議案 新介護ソフトの導入について
- 第 5 号議案 第 6 期大和市認知症対応型共同介護事業の公募について
- 第 6 号議案 その他〈指導監査報告、次回日程〉

第 4 回理事会及び評議員会 平成 28 年 2 月 6 日(土)開催

〈審議内容〉

- 第 1 号議案 ほのぼのシステム・保守一式賃貸借契約の入札結果について
- 第 2 号議案 第 6 期大和市認知症対応型共同生活介護事業の公募対策進捗状況について
- 第 3 号議案 その他

第4回理事会及び評議員会 平成28年3月25日(金)開催

〈審議内容〉

第1号議案 平成28年度 塩田ホーム事業計画案について

第2号議案 平成28年度 塩田ホーム収支予算案について

第3号議案 第6期大和市高齢者保健福祉計画 平成30年度開設

特別養護老人ホーム補助協議対象整備計画の公募について

第4号議案 その他〈報告事項、次回日程〉

以上